

学問の楽しさ

日時：2025年2月27日（木）19:00～20:30

場所：武雄市役所 1 階ホール

「ミルク革命」の秘密

牛乳を飲むとお腹がゴロゴロするという人は多い。なぜ、私たちはミルクを飲むと下痢をしやすくなるのだろうか。ヒトは<血液から母乳を作って子を育てる>という哺乳類の一種である。成長とともに乳糖を消化できなくなるのは、赤ん坊にとって重要な栄養源である乳を大人たちが横取りしないための仕組みだと言われている。哺乳類の運命なのだ。こうした乳利用の限界を超えて大人でも飲めるようにしたのは、哺乳類の中でヒトだけである。今からおよそ1万年前に、人はヤギ、ヒツジの乳しぼりを始めた。やがて、ウシの乳しぼりも始める。動物を殺さずに食として利用すること、それはまさしく「共生」であり、画期的な発明だった。この発明によって、人は家畜を大いに飼うようになり、乾燥地域へ展開することができるようになった。「ミルク革命」と呼んでも良いだろう。それにしても、どのような経緯で人はヤギやヒツジの乳しぼりに成功したのだろうか。現代のモンゴル遊牧民における春の子畜育てを観察しながら、始まりを想像してみよう。

講師 小長谷 有紀 氏

武雄アジア大学 学長予定者
国立民族学博物館 名誉教授

専門は文化人類学。1957年生まれ。1979年、京都大学文学部在学中にモンゴルに女性として初めて留学した。京都大学文学部助手を経て、1987年、国立民族学博物館に勤務。以来、モンゴル遊牧文化について技術から儀礼まで幅広く研究している。調査記録として『モンゴルの春』、留学以降の半生について『人類学者は草原に育つ』、社会主義時代に奮闘した人々の生きざまについて『モンゴルの二十世紀』など、著者、編著、論文多数。それらの業績により、2013年紫綬褒章、2022年モンゴル北極星勲章、2024年ケンブリッジ大学よりオノン賞を授与された。2020年度から2023年度まで日本モンゴル学会会長、2023年秋より国際モンゴル学会会長。

現在、中央教育審議会の大学院部会の臨時委員や日本学術会議会員・地域研究委員会委員長などを務めるほか、2026年開設予定の武雄アジア大学学長予定者として活動中。



2026年4月に開設予定の武雄アジア大学（仮称・設置認可申請中）は、市民のみなさまにも「学問の楽しさ」をお届けする市民講座を3月から月1回開講します。各回の内容は、武雄アジア大学公式サイトをご覧ください。どなたでもご参加いただけます。

問い合わせ

学校法人旭学園 新大学設置準備事務室
TEL 0952-25-6661(代表) <https://www.asahigakuen.ac.jp/tau/>

主催：学校法人旭学園 共催：武雄市



次回は3月15日

講師：増淵敏之 氏
「おにぎり文化の世界展開」